



しほりむちしま町



自然大好きげんきっ子
(こどもセンター園外保育)

議会だより



2007年 No.5
平成19年8月1日発行

- 審議議案 P2
- 一般質問 P3~7
12名の議員が質問
- 委員会調査報告 P7

■発行/小豆島町議会 ■編集/小豆島町議会広報編集委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

「人権尊重の町」宣言を可決

第1回臨時会を5月8日に開催し、「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」と議員発議による「小豆島町議会委員会条例の一部を改正する条例について」の議案及び専決処分の報告3件が提案され、原案どおり可決しました。

6月定例会を6月21日に開催し、「一般会計補正予算」「専決処分の承認」及び「人権尊重の町宣言」など5議案が提案され、原案どおり可決しました。また「緑越明許費繰越計算書」3件の報告事項と議員発議による「道路整備財源の確保・充実に関する意見書」が提案され、原案どおり可決しました。

審議した主な議案

第1回臨時会

教育委員会委員に
明田隆雄氏を再任



明田 隆雄 氏

明田氏（池田）の任期が5月11日をもって任期満了となりますので、引き続き任命することに同意しました。明田氏は平成18年5月11日の合併後の第1回臨時会で小豆島町教育委員会委員に選任され、今期で2期目となります。

教育委員会委員は、明田隆雄氏のほか、次の方々がです。

黒木治夫氏（馬木）
〔教育委員長〕
谷本秀史氏（安田）

熊坂泰忠氏（福田）
岡田惣枝氏（池田）

小豆島町議会委員会
条例の一部改正

小豆島町行政組織条例の一部が改正され、内海統括案が無くなったことにより所要の改正を行うものです。

第2回 定例会

人権擁護委員に
中武義景氏を選任



中武 義景 氏

人権擁護委員の竹本郁子氏から辞退したいとの申し入れがあり、その後任として中武氏（安田）を選任することに決定しました。

人権擁護委員は中武義景氏のほか、次の方々がです。

森川 桂輔氏（西村）
個 豊年氏（福田）
三木 良榮氏（苗羽）
森口 祐三氏（蒲野）

岡 脩氏（室生）
平井美恵子氏（池田）

一般会計補正予算
（第1号）

本年は異常気象のため降雨が非常に少なく、5月28日に洪水対策本部を設置し、洪水対策に関し、早急な手立てが必要になったため、2243万6千円を町長の専決処分としたものです。

なお、台風4号の襲来によりダムの貯水率がほぼ100%に達したため、7月15日に洪水対策本部は解散しました。

一般会計補正予算 （第2号）

追加補正予算額は2224万2千円で、補正後の予算総額は79億2967万

8千円となります。主なものは、次のとおりです。

- 総務費関係
自主防災組織育成事業補助金 200万円
- 農林水産業費関係
漁場整備（菜いそ設置）事業 561万円
- 商工費関係
岬の分教場整備運営基金積立金 1000万円
- 土木費関係
蒲生住宅除却工事 110万円

病院事業会計補正予算 （第1号）

遠隔医療に対する467万2千円の県補助金の内示があったため、資本的収入を増加するものです。

人権尊重の町宣言

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ宣言と権利について平等である。

小豆島町民は、基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、町民一人ひとりがお互いを理解し、人権意識

の高揚に努め、人が人に差別されない、人が人を差別しない社会の実現を希求する。

ここに、あらゆる差別の撤廃と人権の確立を誓い、本町を「人権尊重の町」とすることを宣言する。

小豆島町

一般質問

- | | |
|----------|----------|
| 谷 清 議員 | 中江 正 議員 |
| 森 崇 議員 | 村上 久美 議員 |
| 森口 久士 議員 | 藤井 源詞 議員 |
| 新名 教男 議員 | 渡辺 慧 議員 |
| 鍋谷真由美 議員 | 新茶 善昭 議員 |
| 安井 信之 議員 | 藤本 傳夫 議員 |

【傍聴者 4名】

配食サービスと厨房施設改善を



谷 清 議員

谷議員 老人給食の今後のあり方と、そのまかないをする福祉会館の調理環境と備品について改善を望むが、

答弁 今後の方針は介護予防の観点から栄養改善の必要な方には、サービスを提供したいと考えます。

福祉会館調理室に冷房機器はあるが、型が古く効かない、食器消毒保管庫もタイマーと扉が機能しておらず、手動なので止め忘れると火災の危険があるので、社協とも十分協議し、対応を考えます。



更新待たれる厨房施設

内海病院特別室の不具合について

谷議員 特別室の造りが患者にやさしくない。改善を申し入れたがその後どうなったのか。

収納対策室の今年度の数値目標は

谷議員 収納対策室の今年度の目標数値は、どの位か。

答弁 行政サービスに対する住民の公平負担の原則に基づき、収納率の向上と滞納整理の強化に向けて設置しました。

しかし、債権のすべてを一括して取り扱うのではなく、これまでに十分でなかった整理の手法を導入し、法的な措置により、住民の自主的な納付を促すことを目標に考えていきます。

災害に強い町づくりを



森 崇 議員

億円)に頼る姿勢であり、問題がある。

答弁 ご指摘のとおり自主防災づくりは最も重要です。自治会には年間400万円を上乗せし充実を図っています。防災無線は情報を周知する大きな柱です。

森議員 小豆島町の防災は谷ごと、川の西東ごとの自治消防の強化が「主」で、あまり金はかからない。町は「従」である防災無線(9

小豆島の路線バスは

森議員 三豊市は全廃されていた路線バスに1億円以上かける。全国でも同様であり「公共交通法」が成立した。再建途上の島バスの路線が危惧されるが。

答弁 路線バス維持については、19年度に国土交通省の「公共交通活性化プログラム」の採択を受け検討を進めていき、利用促進のPRも実施します。

海上交通の安定確保は

森議員 海の道(航路)を守るため小豆島振興協議会はどんな議論をしてきたのか。

答弁 民間が運営する公共交通の運航を注視しています。根本的な方策はまだ見つかっていません。

警察の取締りと呼びかけについて

森議員 交通事故ゼロ、違反ゼロをめざすなら取り締まりだけでなく警察官自らが毎朝道路に立って呼びかけをするべきと考えるが。

答弁 交通安全の取り組みは万全を期すべきで、呼びかけは大切な取り組みのひとつです。



真剣なまなざしの避難訓練 (7月8日坂手地区)

内海中学校体育館の建設計画は



森口 久士 議員

森口議員 現在計画している屋内運動場の面積1494㎡のうち文部科学省の基準面積1138㎡が補助対象面積となり356㎡部分は町単独工事と聞いている。なぜ今になって、ここからの提案で広げるとか文化ホール的に使用出来るように計画を変更しようとしているのか。



改築予定の体育館

新名議員 地域住民の生活環境を整備するために、住民自らが施工する工事に対して「原材料支給」が実施されている。小豆島町になり、里道舗装、水路修繕などの要望が多いと聞くが、住民自治の精神育成のためにも、生活環境整備のためにも住民のニーズに応じた予算増額が必要でないか。



新名 教男 議員

原材料支給(里道など)の増額を

学校教育の場であり、社会教育の目的でない、年に何回利用するのか。無駄・贅沢な計画と思えるが。

答弁 財政的負担、現在の面積が文部科学省の基準を超える面積であり、過去の検討委員会の検討結果を踏まえたうえでの協議が必要です。身の丈にあった形で検討委員会でも、十分協議した結果を尊重すべきと考えています。検討の基本は現在の基本設計です。

答弁 小豆島町発足初年度は、原材料支給の自治会要望が予想以上に多かったことから、今年度は、極めて厳しい財政状況の中ではありますが、前年度比25%増額配分しました。現在、今年度の自治会要望の取りまとめ中ですが合併以前から原材料支給制度を実施していたこともあり、要望のない自治会も多いようです。最終結果を見たらうで、来年度以降は財源の許す範囲で予算編成に反映させ、計画的な整備を図っていきます。



里道舗装の作業中(片城)

水道料金引き下げを



鍋谷真由美 議員

鍋谷議員 小豆島町の水道料金は、県下で一番高い。地方公営企業法第21条は、「地方公営企業料金の原則を公正妥当、かつ能率的な経営の下の適正な原価、健全な運営を確保するもの」と定めている。簡易水道の人件費が含まれている・利益率が高すぎるなどの問題点を見直して、水道料金の引き下げを。

も見込まなければなりません。内海浄水場大規模改修など施設更新経費を見込んでおり、引き下げは困難です。むしろ今後の費用の増加に対し、いかに現在の水道料金を維持するかが課題です。

多重債務対策を

鍋谷議員 金融庁の相談マニュアル(案)や、先進地に学んで、広報への特集掲載と、相談窓口を収納対策室以外に早急に設置を。

答弁 収納対策室を窓口にし、各種相談窓口や司法書士・弁護士との紹介などから相談業務を開始し、より主体的に相談業務が行えるようにします。広報掲載は、担当部署での知識蓄積後に実施します。

乳幼児医療費無料年齢引き上げを

鍋谷議員 乳幼児医療費無料年齢引き上げを求めます。当面、小学校就学までの無料化の実施を。

答弁 年齢引き上げは全額町負担となることから、今後の検討課題です。



町民にきれいな水を(浄水場)

小学校統合計画の住民説明は



安井 信之 議員

が明確に示されていないこと、小豆島町としての再編整備計画は今後の課題ですので、改革プランでは平成21年度以降に見直すことにしています。

安井議員 旧町時代に策定委員会にて検討され、今後内海中学校建設後行くとされる小学校統合に関する事項が、集中改革プランに記載されていないのが残念だ。

今まで住民、特に保護者のみなさんに対してどのような形で情報の公開をしてきたのか。

詳細なシミュレーションを行い、統合間近での説明ではなく早いうちからの取り組みが必要と考えるが。

答弁 平成16年5月に内海町教育委員会で策定された「教育施設適正配置計画基本方針」及び「実施計画」に基づき、内海中学校の建設や幼稚園、小学校の統合に伴う地元協議などを行ってきました。この内容は議会、自治連絡協議会で説明してきました。

現計画には統合時期など



福田小学校

福田地区への説明は統合対策協議会と幼稚園・保育所、小学校の保護者との話し合いを行っています。地区住民への説明は、12月と今年の1月に福田地区と当浜地区で実施しています。

池田地区の高潮・高波対策は



中江 正 議員

行い、5月23日に不十分ながら現地写真と調査資料を町へ提出した。町はこの間高潮と高波の原因調査をしたのか。

中江議員 一昨年は、内海地区海岸の高潮進入路の調査を森議員と行い、1007枚の現地写真と共に要望書を提出した。池田地区では、平成18年2月～3月に、海岸や高潮・高波の調査を

内海病院の
経営状況は

中江議員 全国的に自治体病院の経営実態の悪化問題が報道されている。

医師の不足、勤務体制、医師確保の大学病院間の医局のあり方などが取り上げられているが、内海病院の実態はどうか。

答弁 18年度は、診療報酬の引き下げと患者負担の増加による診療控えてで経理上

答弁 県と関係市町で取りまとめている津波、高潮対策整備推進アクションプログラムを基に県と連携をとりながら地域単位の調査なども含め取り組みます。

赤字です。建物や機器類の減価償却費が主な要因です。医師確保は、数の上では充足していますが、診療科によっては、医局の人材不足などにより必要な医師の確保はできてなく、派遣元の大学との連携、信頼関係を大切にして確保に努めます。



村上議員 福祉バスは西中

福祉バス運行
の見直しを

山集落の町道までの運行がなされず、利用者の利便性を欠いています。バスの小型化と運行見直しで利便性向上を。

村上議員 地方公営企業法の料金のあり方の基本原則があり、その内「企業の健全な運営確保に足るもの」に則せば「内海ダム再開発費」が留保財源を食いついでいます。県下で一番高い料金です。



村上 久美 議員

答弁 内海ダム再開発事業は治水、利水対策上きわめて重要であり、事業負担金、人件費なども水道事業で計上しています。今後、事業経費や経営経費の増大が見込まれることから、経営努力に取り組み、現在の水道料金水準の維持に努めます。

水道料金の値下げを



機能しない逆水防止弁

住民の福祉向上を目的として運営する以上、水道料金の値下げをすべきでは。



喜ばれている福祉バス

ないと考えます。

「小豆島町集中改革プラン」について

村上議員 住民生活に多大な影響を与えるこのプランはやめるべき。今やるべきは新内海ダムや同和対策などに大胆なメスを入れることが先決では。

答弁 集中改革プランは、行政運営の効率化による経常経費の削減が大きな目的であり、継続的かつ着実に進めます。

未収金について

答弁 西中山路線は、道幅が狭く、大きなカーブも多く、比較的通行量もあり、安全第一に考えると難しいです。
小型化は、年間何回か10人以上の利用者があり適さ



藤井 源詞 議員

藤井議員 各課の職員は未納者に直接集金しているのか。銀行などで振込み、臨時職員による集金など必要に応じた集金の方法がある

が、「不納欠損処理」すべきではない。民間で普通努力すべき仕事を役場ではどのような努力をしているか。

答弁 嘱託職員による集金は一部の地区のみです。「納税は便利で確実な口座振替を」と利用者の拡大に力を入れていますが、納税義務者数の半数を上回った程度

文化ホール建設を目的とした基金の利用を

藤井議員 内中体育館建設にあたって、文化ホールの要素を盛り込んだ設計に、文化協会や体育協会の意見を

答弁 検討委員会の結果は尊重すべきと思っています。



収納対策室 (内海庁舎)

です。未納が発生すれば督促状、電話で催促、戸別訪問をし、納税相談をしながら徴収に努力しています。各課と連携し、少しでも未収金をなくすよう努めています。職員が一丸となって頑張っています。

財政負担を伴い、現在の面積が文部科学省の基準を超える計画であり、過去の検討委員会の検討結果を踏

「農地・水・環境保全向上対策」とは

まえたうえで協議が必要。今回の検討委員会で十分検討いただきます。



渡辺 慧 議員

渡辺議員 ここ数年、農家の高齢化、後継者不足などで農地の管理が難しくなっている。

行政の支援を受け、地域全体で環境整備などに取り組み、後継者不足を解消する「農地・水・環境保全向上対策事業」が本年度より導入された。我が町でも安田古郷・二面の2地区で計画している。

答弁 この事業は農業者のみならず地域住民が協力して、効果の高い共同活動を実施するもので、安田古郷地区の20・7haと二面地区5・8haで、今後5年間にわたって取り組みます。

耕作はもちろん、除草や水路の泥上げ、農業施設の点検や、生態系に配慮した



緑豊かな安田古郷地区

施設の適正管理などを計画しています。
また、地域住民はごみ撤去や清掃活動、めだかや虫などの生態の管理や生物の生息状況の把握など農業者と連携して実施します。
自然環境や景観、防災機能の保全などにも資するもので、積極的に支援していきます。

不燃ごみ・粗大ごみの有料化について



新茶 善昭 議員

新茶議員 平成21年度より、不燃ごみ・粗大ごみの有料化の予定だが、どのような方法か。不法投棄が増えると思われるが。

答弁 埋立処分地を延命化させるため有料化は避けられません。ごみを減らすことは自然環境の保全にもつながるものです。料金・収集方法については今後検討していきます。

不法投棄については、町広報での啓発や、看板設置などにより防止に努めます。

映画村20周年 記念イベント について

新茶議員 先日ポスターを見た親子連れの方から宝探しイベントの内容をたずねられた。概要は、

答弁 オリーブ百年祭の支援イベントとしてタイアップしており、来年本番を迎えます。今夏はガイドブックを買っていただき、映画村・オリーブ公園・オリーブ園に隠された宝を探して回答を投函箱に入れるなどで、賞品が当たる抽選が計画されています。

草壁商店街に 出没する猿に ついて

新茶議員 草壁商店街周辺に出没する猿が農作物を荒らし、商店や民家に入り被害が出て住民が困っている。害獣対策に自衛隊活用

の記事を見た。なにか秘策は。
答弁 草壁の猿被害については承知しています。平成17年に「サル被害対策会議」を設置し取り組んできた経過もありますが、効果的な対策は見つかっていません。



猿が出没する草壁商店街

町道亀山線の整備について



藤本 博夫 議員

藤本議員 国道、役場、亀山橋、亀山八幡宮の町道は車のすれ違いができない場所が何か所かある。
小豆島町の玄関口でもあり、交通事故が何度も起きている場所もあるので、早急な改善を行うべきでは。

答弁 この路線は起点が国道第3号で小豆島町池田庁舎前を通り、県道三都港平木線を通り、海岸までの1級町道です。沿線には役場・農協・消防池田分署・町営住宅・亀山八幡宮などがあり、池田小学校の通学路にも利用されている重要な路線で、通行車両や歩行者も多い状況です。

しかし全線の道路整備には多額の事業費と家屋の移転など、地域住民の多大な協力が不可欠です。仮に、現在の路線の中で特に危険な箇所のみすみ切り、あるいは



拡幅が待たれる町道

平成19年5月10日委員会を開催し、町長、副町長、担当課職員の出席を求め説明を受けた後、各委員より質疑、意見を求め次の意見を出しました。

○少子化対策について

① 土庄町は今年度より少子化対策として、エンゼル税金等条例を制定し行っているが、県下先進地での効果を踏まえ、小豆島町独自の施策を確立願いたい。

② 子育て世代に対して細かいアンケート・結婚相談

委員会調査報告

教育民生常任委員会

等、プロジェクトチームを作り早急に検討願いたい。

○塵芥収集の全面民間委託について

① 事業の民間委託・直営の比較において、項目によってメリットがどちらにあるのか違ってくる。いろいろな角度から検討願いたい。

② 内海・池田地区の人口一人当たりのゴミの排出量に大きな開きがある。原因究明をし、対処願いたい。



ごみの減量にご協力を

議会日誌

4月

- 16 議会広報編集委員会（議会だより第4号の編集）
- 22 小豆島町消防団（草壁分団）新積載車入魂式
- 27 自治連絡協議会

5月

- 1 議会運営委員会
- 7 蛙子池水神祭 〔土庄町〕
- 8 第1回臨時会
全員協議会（小豆島町総合計画についてはか）
- 10 教育民生常任委員会（少子化対策についてはか）
- 14 オリーブ公園評議員会
- 20 大阪小豆島会総会 〔大阪市〕
- 22 第32回議長研修会 〔東京都〕
- 27 第30回オリーブマラソン全国大会
- 28 小豆島ふるさと村評議員会
- 29 小豆島町池田地区戦没者追悼式
- 30 岬の分教場保存会評議員会

6月

- 3 東京小豆島会総会 〔東京都〕
- 4 オリーブ百年祭実行委員会
- 5 三五郎池水神祭
- 6 小豆郡議長会
- 11 小豆島町土地開発公社理事会
香川県町村議会議長会臨時会 〔高松市〕
- 14 議会運営委員会
- 19 小豆地区広域行政事務組合議会臨時会 〔土庄町〕
土庄町小豆島町環境衛生組合臨時会 〔土庄町〕
伝法川防災溜池事業組合臨時会 〔土庄町〕
- 21 第2回定例会

- 議会広報編集委員会（議会だより第5号の編集）
- 22 全員協議会（小豆島町総合計画について）
- 23 壺井栄賞授賞式
- 26 議会広報編集委員会（議会だより第5号の編集）

7月

- 10 議会広報編集委員会（議会だより第5号の編集）
- 11 総務常任委員会
- 30 香川県広報発行町議会連絡協議会総会及び研修会 〔高松市〕

住 民 の 声



『町の移り変わり』

小豆島町自治連合会代議員 永井勝也（草壁本町）

草壁本町埋立工事の協定書は、平成10年4月27日内海町と本町自治会により締結され、工事が始まり、20年完成予定ですが、ずいぶん遅れています。昭和40年代までは、草壁商店街は活気を呈していました。

誓文私には押すな押すな盛況で人があふれていました。商店は各々に努力されていましたが、現在はシャッターが閉まって人通りも少なくなりました。草壁本町は祭事がたくさんあり、鳥戎祭・祇園祭・弁天祭・夏越の祭と続き、大勢の人でにぎわいます。特に鳥戎

祭は、鳥の繁盛を願って20年続けました。お祭りの時はにぎわいますが、終わると静かな町になってしまいます。しかしながら、これらの行事を実施することによって、自治会役員の協力体制ができるし、何事にも前向きで積極的に取り組んでくれますので、各行事がスムーズに行わ

れています。先日、ある会食の席で、「草壁商店街のにぎわいをもう一度取りもどせないものかな」という話がありました。祭事をしながら、頭から離れない課題です。お互いの知恵を出し合い、工夫をこらして、人が集まっていける町づくりができませんかと思案しています。

編集後記

町は5月末、渇水対策本部を設置した。恵みの雨も降ったが安心はできない。水関連の本には「水の惑星」と言われる地球だが97.5%が海水。淡水は2.5%のみで、内7割が南極の棚氷と高山の氷河。3割が地下水で、私達が使える河川水や湖沼水は地球の水の1%にも達せず、わずか0.01%だといふ。

町史にある大干ばつの記述、年貢の苦勞・約1万5000（香川）のため池も納得できる。豪雨対策を含め、ダム、ため池・緑のダム論も人間の知恵であり、自然との闘いであろう。

しかし、世界の為政者は競争に馴染まない農業の自由化（大会社の農業生産参入）や、水の自由化を進め、地球の水を独占している。中国の黄河・インドのインダス川・米国のコロラド川では世界に売れる農産物生産のため大量の水を横流し、海まで水が届かない「断流現象」まで現れている。

政治を正さないと、世界の水も平和も枯渇してしまふ。人の命・地球の水・参政権を大切にしたい。

森 崇 記